



さつき学園だより

令和6年8月26日号

校長 原田 英和

守口市立さつき学園

〒570-0055 大阪府守口市春日町13番26号

電話：06-6991-0440／Fax：06-6995-2511

37日間の夏休みを終え、子どもたちは元気に登校してきました。2学期は文化発表会やワイワイ参観日など様々な学校行事を予定しております。子どもたちにとって、良い思い出となり、成長に繋がる取り組みになるよう、教職員一同、子どもたちとともに頑張っていきたいと思います。保護者や地域の皆様におかれましても、本校の教育活動に引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<児童生徒の皆さんへ>

長い夏休みを終え、いよいよ今日から2学期が始まります。2学期は文化発表会やワイワイ参観日、5年生の林間学舎、6年生の修学旅行など多くの行事が予定されています。どの取り組みも皆さんにとって有意義な取り組みになることを期待しています。

さて、今年の夏休み期間中にフランスのパリでオリンピックが開催され、連日にわたり世界中のアスリートたちの活躍が報道されました。日本が今大会で獲得したメダルは金20個、銀12個、銅13個の合わせて45個となり、金メダルの数、メダル総数ともに海外で行われたオリンピックでは過去最多となりました。その中で、印象に残る言葉を残した選手がいます。それはスケートボードの堀米 雄斗選手です。堀米選手は前回のオリンピック（東京大会）で金メダルを獲得し、今大会は連覇がかかっていました。しかし、相次ぐ怪我に見舞われ、連覇どころか出場すら難しい状況でした。しかし、ぎりぎりでオリンピックの出場権を獲得し、最後のトリックで全選手の最高点をたたき出し、大逆転で見事連覇を果たしました。競技終了後、「1%の可能性を信じて、最後に実った。」という言葉を残しました。わずか1%の可能性を信じ、諦めることなく、最後まで挑戦する姿に感動しました。皆さんも自分自身の可能性を信じ、最後まで諦めず、物事に取り組むことで素晴らしいものを手にすることができると思います。明後日からパリパラリンピックも開催されます。ぜひ、気になる競技や選手を見つけて応援してみてください。

まだまだ、暑い日が続きますが、体調管理をしっかりとし、充実した学校生活を送りましょう。

祝 近畿大会出場

7月13日（土）、蜻蛉池公園テニスコートで行われた第71回大阪中学校ソフトテニス選手権大会の男子個人の部で大関 佑星・中田 孝太郎ペアが見事、第5位に入り、8月8日（木）に京都府で行われた近畿大会に出場しました。また、7月22日（月）、寝屋川公園テニスコートで行われた第70回大阪中学校ソフトテニス選手権大会の女子団体の部において、女子ソフトテニス部が見事「準優勝」という結果を残し、8月9日（金）に京都府で行われた近畿大会に出場しました。日々の努力の積み重ねが、この素晴らしい結果につながったと思います。おめでとう！！



昨年度に引き続き、支援学級・通級指導教室についての説明をさせていただきます。

文部科学省より（令和4年4月27日に通知）

障がいのある子どもと障がいのない子どもが可能な限り同じ場でともに学ぶことを追求するインクルーシブ教育を進めるうえで、一人一人の児童生徒の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるようにすることが重要であること。このためには、

- ① 支援の必要な児童生徒に、どのような**学びの場がふさわしいか**については、その児童生徒の教育的ニーズが大前提となること。
- ② その際、支援の必要な児童生徒が、必要な指導体制を整えないまま、通常の学級で指導を受けることが継続している場合は、支援学級に在籍しているとはいえず、通級指導教室で指導を受けている状況であること。具体的には、支援学級に在籍するという意味は、**週の授業時間数の半分以上**を目安として、支援学級において授業を受けることであること。

※ 守口市では、児童生徒の障がいの状況に応じた特別的教育課程による指導を行うとし、**一律に週の授業時数の半分以上を求めるものではないとしている。**

文部科学省の通知を受けて、趣旨に則った「適切な学びの場へ変更・見直し」を行うために、支援学級の保護者の皆様には2学期の個人懇談で支援学級在籍について確認をさせていただきます。

【「前期ひだまり学級」「後期ひだまり学級」】…その児童生徒の課題に応じて可能性を最大限に伸ばすことを目標にしています。

- ① 障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた「**特別的教育課程**」を編成し、少人数による指導を行っています。
- ② 教科の学習においては、当該学年や下学年の教科の目標や内容、知的障がい特別支援学校の教科の内容を目標として設定しています。（**学力保障のための学級ではありません。**）
- ③ 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するための**自立活動**を行います。
- ④ 支援学級における指導以外の時間は、同学年の通常の学級において、通常の学級の担任や児童生徒からの支援を受けつつ、交流を行い、ともに学ぶ授業や活動を行う。

【通級指導教室】 前期課程：竹内 絵梨香 先生・後期課程：島田 円 先生

通常の学級に在籍している児童生徒で、**通常の学級での学習におおむね参加できるが**、読み書きに時間がかかる、友達とのコミュニケーションが苦手などの**特定の困り感のある児童生徒を対象**にしています。

- ① **学力保障の教室ではありません。**
- ② 教科の学習ではなく、障がいによる学習上又は生活上の困難を克服するための自立活動を指導します。
- ③ 通級指導教室における指導以外の時間は、通常の学級において授業や活動をしています。

【支援教育コーディネーターについて】

保護者や関係機関に対する学校の窓口として、また、関係機関との連絡調整を担当します。

竹内 絵梨香 先生・麻生 佳代子先生・和田 雄次先生・島田 円 先生

※お子様のことで何かご心配なことがあれば、担任を通して支援教育コーディネーターにご相談ください。